

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	平成27年度 第6回 自治基本条例推進会議
開 催 日 時	平成27年12月8日(火) 午後6時から午後8時
開 催 場 所	市役所榛原庁舎 4階会議室
出 席 者 氏 名	坂本会長、山本副会長、戸塚委員、櫻井委員、山本直子委員、永田委員、小川委員、澤島委員
傍 聴 人 数	15人
会 議 の 議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回対話の場の進め方について ・ 今後のスケジュールについて ・ 基本計画骨子案と基本理念第1次案について
配 付 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1：対話の場の経過と第5回の進め方 ・ 資料2：これまでの経緯と今後のスケジュール ・ 資料3：公共施設マネジメント基本計画の骨子案 ・ 資料4：公共施設マネジメント基本計画 大切にす視点案 ・ 資料5：対話の場で出た大事にする視点に係る意見
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	<p>(1) 第5回対話の場の進め方について</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて</p> <p>※(1)と(2)は関連しているため、一括で審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧に経緯、考え方を周知する必要がある。 ・ 個別問題に入れば、反対意見は出てくる。賛成、反対の両方の意見を聞いて、お互いの落としどころを求める。 ・ 将来の牧之原市のあるべき姿に向かった方向性を示す。 ・ 子ども達に負の資産を残さないという視点が分かりやすい。 ・ 今後の進め方を考えると漠然としてではなく、具体的、現実的に考えるべき ・ 周知を丁寧に進めながらも決断はスピーディに進める。 ・ 現実的な問題、跡地の複合的な利用を考えて、答申はある程度具体的に出して行く。 ・ 市長からは基本的な方向性の諮問を受けている。 ・ 対話の場は意見を聞く場であり、推進会議でそれを基に考え方を示す。最終的に決めるのは市と議会になる。 ・ 答申は、基本的な考え方、推進体制を示すものとし、本年度3月に予定どおり市長に答申することとする。 <p>(3) 基本計画の骨子案と基本理念第1次案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20年間計画とするとかなりの分野が民間の手で運営されていることが予測される。 ・ 民間の力を活かすことを理念に明確に位置付ける。